



2023年8月21日

各 位

会 社 名 株式会社エービーシー・マート
代表者名 代表取締役社長 野口 実
(コード番号2670 東証プライム)
問合せ先 取締役経営企画室長 石井 寧大
(TEL. 03-3476-5452)

2024年2月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、以下のとおり、2023年4月12日に公表しました2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）の第2四半期累計期間及び通期における連結業績予想及び個別業績予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、連結及び個別の通期業績につきましては、売上高は前期の最高額をさらに更新する見通しであり、また、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれにつきましても、2019年2月期以来、5年ぶりに過去最高益を更新する見通しです。第2四半期累計期間につきましても同様となります。

記

1. 業績予想の修正

① 2024年2月期通期 連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	311,500	44,000	44,900	30,400	122.77
今回修正予想（B）	332,200	50,700	52,000	35,500	143.37
増減額（B－A）	+20,700	+6,700	+7,100	+5,100	+20.60
増減率（％）	+6.6	+15.2	+15.8	+16.8	－
（参考）前期実績 （2023年2月期）	290,077	42,301	43,360	30,256	122.19

② 2024年2月期第2四半期（累計） 連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	153,900	23,000	23,500	16,190	65.38
今回修正予想（B）	168,600	29,500	30,500	20,750	83.80
増減額（B－A）	+14,700	+6,500	+7,000	+4,560	+18.42
増減率（％）	+9.6	+28.3	+29.8	+28.2	－
（参考）前期実績 （23年2月期第2四半期）	136,191	19,995	20,501	13,317	53.78

③ 2024年2月期通期 個別業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	203,100	35,200	36,700	24,900	100.56
今回修正予想（B）	222,100	42,600	44,300	30,200	121.96
増減額（B－A）	+19,000	+7,400	+7,600	+5,300	+21.40
増減率（％）	+9.4	+21.0	+20.7	+21.3	－
（参考）前期実績 （2023年2月期）	197,982	34,765	36,142	24,469	98.82

④ 2024年2月期第2四半期（累計） 個別業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	102,070	18,670	19,330	13,090	52.86
今回修正予想（B）	115,700	24,800	25,650	17,650	71.28
増減額（B－A）	+13,630	+6,130	+6,320	+4,560	+18.42
増減率（％）	+13.4	+32.8	+32.7	+34.8	－
（参考）前期実績 （23年2月期第2四半期）	95,535	17,004	17,572	11,422	46.13

- （注）1 当社は、2023年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施するため、2024年2月期の1株当たり当期純利益予想及び1株当たり四半期純利益予想については、株式分割の影響を考慮しております。
- （注）2 2023年2月期の1株当たり当期純利益及び1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が2023年2月期の期首に行われたと仮定した場合の期中平均株式数に基づき換算しております。
- （注）3 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 修正の理由

2024年2月期の上半期の業況は、コロナの5類感染症への移行に伴う外出機会の増加により国内需要が大きく回復し、売上利益ともに計画を大幅に上回るペースで推移しております。商品的な好調要因としては、アウトドア向けシューズの商品戦略の奏功、猛暑によるサンダル売上の伸長、アパレルの取り扱い拡大による買い回り効果などが挙げられます。また、スニーカーにおいては GRANDSTAGE、ABC-MART SPORTS 業態による高付加価値、高単価商品の販売増により平均単価が1割以上上昇してきていることが売上のさらなる増大につながりました。また、今年に入りインバウンド消費が回復しており、直近7月の免税売上比率は7.8%に拡大しました。中国からの旅行客の免税売上も増加基調にあります。

2021年以降、アフターコロナを見据えIT投資戦略を加速してまいりましたが、店舗&EC統合システムや新しいスマホアプリが完成し、収益拡大に大きく貢献しております。店頭販売とEコマースの両ビジネスにおいて、商品情報・在庫情報・ポイント・購買履歴といった情報が一元化されたことにより、実店舗においても全てのEC在庫の販売が可能となりました。タブレット端末や店頭のタッチパネルディスプレイを用いたお客様のご自宅への直接配送サービスによる売上が伸長しております。これにより、自店在庫の欠品時の販売機会ロス削減に加え、店舗で取り扱いがない商品の提案も可能になり、新たな購買機会の創出に結びついております。さらに、従業員用スマホアプリによる在庫情報の共有化により店舗運営における業務効率が飛躍的に改善され、その結果、店舗における人時生産性が向上し、売上のさらなる拡大と人件費等の抑制につながりました。

海外におきましても、アジアでは消費が拡大しており、特に韓国においては日本と同様にインバウンド消費の回復、プロパー商品の販売が奏功しており利益貢献しております。米国においては、市況の悪化に伴い在庫背景の改善に時間がかかっていますがEコマースやDTCの販売が順調なことから、2023年度中の回復を目指しております。

以上のことから、2024年2月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想（個別及び連結）の上方修正を行っております。なお、修正予想の前提として、7月末時点において入手可能な情報を基に算定しております。

以上